



世界の人々と「ハマス・イスラエルの戦争即時中止」の行動を起そう！

10月7日、パレスチナ自治区のガザを実効支配する「イスラム抵抗運動」ハマスが、ロケット弾等による大規模な奇襲攻撃を行いました。この奇襲攻撃は決して容認できるものではありませんが、一貫して国連決議と国際法を無視し、破ることで今回のハマスの暴発を誘引したイスラエル政府にも重大な責任があります。この奇襲攻撃をきっかけにイスラエルは空爆等で応戦し、すでに双方の死者は、3700人を超えたと報道されています（10月16日現在）。

間もなくイスラエルによるガザの壊滅とパレスチナの全面占領を企図した総攻撃がはじまろうとしています。イスラエル軍によって包囲されたガザは、「天井のない牢獄」と化し216万人の市民は、生活に欠かせない電気、食料、医薬品、燃料等を遮断され極限状態にあります。もしガザにイスラエル軍が侵攻すればジェノサイド

が起きかねません。私たちは、断固として侵攻に反対です。

国連のグテーレス事務総長は9日、「攻撃を即時に停止し、100人以上とされる人質を解放するよう求める緊急声明」を出しました。18日国連安全保障理事会が開催され、ガザ市民への人道支援を安全に実施するための決議案が討議されましたが、常任理事国の米国の拒否権行使によって否決されました。第5次中東戦争勃発の危機です。これを絶対に止めなくてはなりません。世界の人々と戦争の即時中止！パレスチナに平和を！イスラエルはガザへの爆撃と軍事占領をやめろ！等の行動を起しましょう。

労働大学企画編集委員 千葉愛一郎